

★議会改革を検討する取り組みが八潮市議会でも始まりました。しかし、各党派間に大きな差がある様子!?

一般質問

住居環境について

Q 本市も駅が開業し、今後も発展する可能性が高いといわれています。一方で今後ゲームセンターやパチンコ店等の特定施設の進出が考えられます。隣接する草加市では、特定商業施設の進出の際、近隣住民との協議を義務付けた条例を制定しましたが、本市の考えは？

A 本市では良好な近隣関係の保持を目的とした「八潮市特定建設物の建築に係る良好な近隣関係の保持に関する条例」があり、現在その条例を活用している。今後は、草加市等の事例を参考にして今まで以上に、対応出来る仕組みづくりを制度化するなど検討をしていきたい。

●和宏の意見・考え方

これから駅周辺の開発が進み、さらに街としての賑わいが予想され、歓迎することですが、一方、住居地としての環境を脅かす施設の進出も予想されます。草加市の条例の場合、開発業者側に対して説明会の義務付けや、市として勧告が出来るなど本市の条例より、一歩踏み込んだ条例だと評価しています。

また基本理念が、「住宅地として良好な住居環境を保つ…」とあり、以前から

その場所にお住まいになっている住民側に配慮した内容になっていると思います。再質問・要望で、本市の条例を、草加市の条例の良い内容を参考に、条例の内容の上乗せ、横出しを検討し、早期に条例の改正をするように要望しました。



消防団について

Q ここ数年、全国的に消防団員の人員が減少傾向にあり、地域防災の担い手である団員の増員、体制の強化が求められています。その対策の一環として「女性消防団・機能別消防団」を設置する自治体があります。本市の考えは？

A 本市の状況は、3分団19部の組織構成で、条例で定める消防団員数定数237名に対し、現在218名となっており、充足率は92%となっています。現段階では団活動の上では比較的支障はなし。しかし、全体の85.3%が20年未満、15年前後で退団される傾向が強く、各分団では後任の新入団員の確保に

苦慮しているのが現状である。また、被雇用者(サラリーマン)団員の割合も年々増加、団員の高齢化も更に進むことが懸念されている。

質問の「女性消防団」については女性が入団しやすく、活動しやすい環境、組織体制の検討を今後も重ねていく。「機能別消防団」についても、現在建設中の新消防庁舎に消防団活動の拠点整備も叶いますので、設置について検討する方向で考えている。

●和宏の意見・考え方

私の同級生や友人も現在、消防団に加入し、活躍しており、日頃の活動に感謝しています。本市の場合、団員不足は深刻ではありませんが、今後急速に変化する社会状況等を考えると、従来からの消防団に加えて、災害時など特定な活動をする「機能別消防団」の設置の意義は大きいと考えます。再質問・要望で、早急に設置に向けての議論を進めるように要望しました。

その他の質問

- 1. 少子化本部の設置について
 - 2. 学校地域支援本部について
- ※詳細については八潮市議会のHPをご参照下さい(5月下旬頃更新予定)

傍聴 うおちゃん!!



○朝田議員から、現在「議会改革」について議論が始まったと聞きました。ぜひ、「土曜議会や休日議会」を実施してほしいと思います。現在の時間帯(平日、昼間の時間帯)では、議会に興味があっても傍聴するには難しいと感じます。まずは試験的に実施してみるのも良いと思いますが…。今後、さらに八潮市議会も「開かれた議会」になるように期待しています。(60代女性)



お忙しい時間、傍聴ありがとうございました。